

令和2年第6回福祉医療常任委員会 要点記録											
開閉会日時		令和2年7月31日(金曜日)		開会	13:30		会議場所		別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	15:04						
委員の出欠		2 番	横田 保江	出席	4 番	小椋 哲也	出席	7 番	木嶋 悦寛	出席	
		12 番	松原 政勝	出席	14 番	佐藤 初雄	出席				
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉部次長		福祉課長		介護支援課長			
		今野 健一	出席	青柳 茂	出席	干場みゆき	出席	千葉 宏	出席		
		町民課長		保健課長ほか		老人保健施設事務長		訪問看護ステーション所長			
		青柳 茂	出席	干場 富夫	出席	竹中 利哉	出席	堀 留美	欠席		
		介護支援課主幹		地域包括支援センター長		居宅介護支援事業所長					
		高橋 勇樹	出席	九里 富恵	欠席	渡辺 久利	欠席				
		保健課主幹		保健課主幹		母子健康センター師長		福祉課主査			
		齊藤 晴美	欠席	畠澤みどり	欠席	花川 純子	欠席	武田 妙子	欠席		
		福祉課主査		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		町民課主査			
		澤田 憲一	欠席	松本 静香	欠席	大道 詳子	欠席	奈良 司	欠席		
		町民課主査		町民課主査		町民課主査		保健課主査			
		平下奈津子	欠席	橋本 達也	欠席	木幡 友哉	出席	能登 麻奈美	欠席		
		母子健康センター主査		老人保健施設主査		保健課主任					
		大森 晴海	欠席	岩口 真紀子	欠席	佐伯 祐司	欠席				
	別海病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課主幹		病院事務課主査			
		大槻 祐二	出席	小川 信明	出席	石戸谷友絵	欠席	西田 和弘	出席		
	総務部	税務課長		税務課主幹							
		伊藤 輝幸	欠席	松田 勝広	欠席						
	委員外の出席		議長 西原 浩								
	事務局職員		事務局長 小島 実		事務局主事 庄司 孝子						
傍聴者数		一般 0名		報道関係者 0名		合計		0名			
会議に付した事件及び会議結果など											
発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。									
委員長 7 番 木嶋		13:30 開会									
		開会挨拶									
		出席委員 5名、欠席委員 0名、委員外 西原議長、会期 1 日									
		【町立別海病院に係る調査】									
病院事務長 大槻		挨拶及び経過報告									
		① 診療体制について									
		② 看護師等の確保について									
委員長 7 番 木嶋		議事1 所管事務調査について									
		(1)町立別海病院の経営等について									
病院事務長 大槻		口頭による説明									
		・ コロナウイルス感染症による患者減少による収入減が続いており、今後も継続する見込みである。									
		・ 収入の減少については、今後、国の減収債の制度が見込める。詳細が決定すれば9月の補正で提案することとなる。									
		・ 医療従事者への支援金についても、今後決定すれば補正で提案する。									
委員長 7 番 木嶋		質疑									
委員 12 番 松原		・ 減収債とは何か。									
病院事務課長 小川		・ 正式な名称を「特別減収対策企業債」といい、国から貸付けを受ける。起債であるため、振興局と協議の上、進めることとなる。									

令和2年第6回福祉医療常任委員会 要点記録

委員長 7 番 木嶋

病院事務課長 小川

病院事務長 大槻

委員長 7 番 木嶋

病院事務課主査 西田

- ・ 交付税等で戻ってくる制度はあるか。全て償還が必要なのか。
- ・ 現時点でないと聞いている。
- ・ どの医療機関においても同様に厳しい経営状況が続いている。国が何らかの対応をしていくようになるかとも考えられる。

(2)MRIの導入について

口頭による説明

① 建物増改築工事

- ・ 6月14日に入札執行、6月11日に契約となった。
- ・ 総額：252,912,000円（主体工事において4,829,000円増額あり）
- ・ 外構工事：4,983,000円
- ・ 今年度の工事総額：257,895,000円
- ・ 工期は6月11日から令和3年2月25日までの予定である。

② MRI本体

- ・ 7月20日入札執行。
- ・ 入札額は140,195,000円。
- ・ 納品は1月以降の見込み。（躯体工事終了後）
- ・ 運用開始日は現時点で未定。

質疑

- ・ MRI本体のメーカー及び性能は。
- ・ GEヘルスケア・ジャパンのシグナVoyagerという機種である。仕様書どおり1.5テスラのもので、比較的新しい機種であり日本国内での導入は24例目とのこと。

(5)新型コロナウイルス感染症対策について

口頭による説明

- ・ 町内における陽性患者の発生はなし。引き続き入院制限、外来トリアージを行っていく。
- ・ インフルエンザも発生してくる秋以降に向けての対策を必要とする話も出てきている。決まり次第、委員会にも伝えたい。

質疑

- ・ 自治体独自での陽性検査はできるのか。
- ・ 陽性検査については道と委託契約をしないと正式にできないため、指定病院ではない別海病院では原則やらない。いずれやらざるを得なくなるのではないかと考えられる。
- ・ 釧路ではPCR検査が可能な状況か。
- ・ 指定の医療機関において可能である。根室管内では根室の市立病院において可能となっている。
- ・ 中標津でのPCR検査は可能か。
- ・ 正式には聞いていないが、可能との話もある。別海病院においてもやむを得ず検査することはある。
- ・ 検査とはどこまで行うのか。
- ・ 検体を採取し、委託先に送り検査する。

議事3 その他について

特になし

休憩 13:49

再開 13:59

委員長 7 番 木嶋

委員長 7 番 木嶋

病院事務課主査 西田

委員長 7 番 木嶋

病院事務長 大槻

委員長 7 番 木嶋

副委員長 4 番 小椋

病院事務長 大槻

委員 12 番 松原

病院事務長 大槻

委員 12 番 松原

病院事務長 大槻

副委員長 4 番 小椋

病院事務長 大槻

委員長 7 番 木嶋

令和2年第6回福祉医療常任委員会 要点記録

	【福祉部に係る調査】
福祉部長 今野	挨拶及び報告
	・ 西春別駅前歯科診療所の休止について ・ 戦没者追悼式について
委員長 7 番 木嶋	議事1 所管事務調査について
	(3)別海町第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画、別海町高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定について
	口頭による内容説明
福祉課長 干場	別海町第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画の策定について
	・ 7月22日に第1回策定委員会を実施した。ほぼ当初のスケジュールどおり進んでいる。 ・ アンケート調査の素案について委員から意見を聴取した。8月中旬までに対象者に送付する見込みである。
介護支援課長 千葉	別海町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定について
	・ コロナウイルス感染症予防のためスケジュールを調整していた。少し遅れている状況である。 ・ 8月中にアンケートを実施し、9月中にその結果をまとめる予定で進めている。
委員長 7 番 木嶋	質疑
委員長 7 番 木嶋	・ アンケートの内容について、委員にも共有してもらうことは可能か。 ・ 8月中旬に対象者に送付し、その後、内容を示すことは可能と思われる。 ・ 次回で構わないので、共有させていただきたい。
福祉課長 干場	
委員長 7 番 木嶋	
	(4)子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業について
福祉課長 干場	資料により内容説明
委員長 7 番 木嶋	質疑
委員 12 番 松原	・ 協議会発足から、虐待案件の取り扱いはあるのか。 ・ 平成29年度末以降の取り扱いについて、平成29年度相談18件、保護0件、平成30年度相談38件、保護3件、令和元年度相談44件、保護1件となっている。（発足時からの件数はこの場では不明） ・ 指導をすることにより、家庭に戻ってうまくやっていると聞いているのか。 ・ 案件にもよるのだが、家庭内で虐待についてどのように受け止めるかが重要。継続して見守っている案件がほとんどである。 ・ 「虐待疑い」の際の対応速度は。 ・ 個別ケース検討会議は案件が発生し次第随時開催しており、すぐに対応している。 ・ 資料に記載している以外の関係機関との情報連携も必要と考えるが、どのように考えているか。 ・ 子供が通常活動する学校・保育園などの機関との連携が主だが、対象者によっては児童デイサービスセンター等とも連携していく必要があり、会議に招集はしていなくても情報の収集は行っている。 ・ 主たる機関以外の施設等では、通知等があった方が連携・協力しやすいと考える。ぜひ充実させてほしい。 ・ 実際にどのようなことが虐待・虐待疑いなのか、どのようなきっかけで判明したのかなど、町内における虐待等の具体的な状況を可能な範囲で教えてほしい。
福祉課長 干場	
副委員長 4 番 小椋	
福祉課長 干場	
委員長 7 番 木嶋	
福祉課長 干場	
委員長 7 番 木嶋	
委員長 7 番 木嶋	

令和2年第6回福祉医療常任委員会 要点記録

福祉課長 干場

委員長 7 番 木嶋

福祉課長 干場

委員長 7 番 木嶋

福祉課長 干場

委員長 7 番 木嶋

委員 12 番 松原

福祉部長 今野

委員 12 番 松原

福祉部長 今野

委員長 7 番 木嶋

福祉課長 干場

委員長 7 番 木嶋

福祉課長 干場

委員長 7 番 木嶋

委員長 7 番 木嶋

福祉課長 干場

介護支援課長 千葉

委員長 7 番 木嶋

副委員長 4 番 小椋

介護支援課長 千葉

副委員長 4 番 小椋

介護支援課長 千葉

- ・ 例を挙げると、令和元年度44件の相談のうち、身体的虐待については問題が表面化しやすく、外出先において親から頻繁に殴られている等の住民からの通報により、福祉課において関係機関等へ調査行い実態を把握している。
- ・ 令和元年度の案件のうち、現在も継続し観察している案件はどのくらいあるか。
- ・ ほぼ全件について継続し観察を行っている。

(5)新型コロナウイルス感染症対策について

口頭により内容説明

- ・ 「子育て世帯への臨時特別給付金」について、6月から9月末までの申請期限で、90%弱が申請している状況。
- ・ 「障がい児等への応援給付金」についても、7月6日に対象世帯へ申請書送付済み。9月末までの申請期限で、現在約50%の申請状況となっている。

質疑

- ・ 町独自の住民向けコロナ対策のようなものはあるか。
- ・ 独自のものはないが、道の「新しい生活様式」等を周知している。
- ・ ホームページにおけるコロナ対策情報は充実しているが、文書等により周知していく考えはあるか。
- ・ 今後協議していきたい。
- ・ 障がい児等への応援給付金について、申請率が半分程度とのこととまだ少ないようだが、この給付金は申請がないと給付することはできないものか。
- ・ 申請書を送付してまだ時間が経っていないので、8月になればもう少し増えると予想される。なお、振込口座がわからない人も多いため、申請がないと給付は難しい。対象者は把握しているので申請がない場合には個別で促すことも考えている。

議事3 その他について

(1) 幼保給食費の無償化による影響等について

口頭により内容説明

- ・ 副食費が国の保育料無償化の対象外であることから利用者に実費負担をしてもらっているところである。
- ・ ヘキ地保育園では給食提供がないため、給食費の無償化を行うことで地域でサービスに差が出ることになる。まずは、地域差の解消から行っていきたい。

質疑

- ・ 保育料の無償化で混乱などはあったか。
- ・ 現場からそのような報告はない。

(2) 東部地区高齢者介護施設整備のその後について

口頭により内容説明

- ・ 6月17日に尾岱沼連合町内会に対し、計画の見直しを行い建設に向けて再考する旨説明を行った。連合町内会としては計画中止とならず安心したとのことであった。
- ・ 工事期間等も考慮すると、年度内の再公募は厳しい見込みである。

質疑

- ・ 改めて地域の声を聴く予定はあるか。
- ・ 連合町内会に確認しているので、予定していない。
- ・ 見直しする内容についてもアンケート等聞き取りは行わず、内部検討のみで仕様を考えるのか。
- ・ 第8期の計画策定時においても検討したい。

令和2年第6回福祉医療常任委員会 要点記録

福祉部長	今野
副委員長 4 番	小椋
福祉部長	今野
福祉部次長	青柳

- ・ 現状、地域への聞き取りについては考えていない。
- ・ 2度も入札不調であったことから、多方面から考えてほしい。
- ・ この場でどうするかは断言できないが、うまくいくよう進めていきたい。

(3) ごみの減量化について

口頭により内容説明

- ・ レジ袋の有料化については国からの要請に基づき住民周知を行った。これに伴う減量化には取り組んでいないが、不適切なごみの分別を正して減量化につながるようにしていきたい。

質疑

- ・ 分別について今以上に細分化していくつもりはあるか。
- ・ 現時点において、分別が細かく困難であると町内会等から声が上がっている。まずは、今の分別について理解を深められるよう周知していく方針である。
- ・ ごみの分別によるリサイクルの効果が見えるような住民周知は行っているか。
- ・ ホームページへの掲載や広報での連載による周知をちょうど検討しているところである。
- ・ 路肩のごみは野生動物等を寄せ付ける可能性もあり危険である。こういったごみに対する対策はあるか。
- ・ 近年、不法投棄が増加している。年2回の一斉清掃を行っているが、完全に防ぐのはなかなか困難である。
- ・ 啓発活動等について引き続き行ってほしい。
- ・ 不法投棄については、地域のものではなく、遠くから運ばれてきて捨てられている。地域でパトロールの実施や看板を立て不法投棄が減少した。住民主体となって対策していくような環境が必要と考える。
- ・ 不法投棄については警察とも連携しながら対応していきたい。また、禁止を呼びかける看板を今年から設置し始めた。
- ・ 引き続き対応をお願いしたい。

(4) 最終処分場の管理状況について

口頭により内容説明

- ・ 直近5年間埋め立ては平均220㎡となっている。試算によると令和26年度まで埋め立てが可能と見込んでいる状況である。

質疑

- ・ 以前確認した時よりも埋め立て可能期間の見込みが伸びたのか。
- ・ 平成30年度時点での埋め立てが可能期間中は令和24年度までであった。搬入されるごみの量が減ったため、埋め立て可能期間の見込みが伸びている。
- ・ 搬入量減量の理由の分析は行っているか。
- ・ 人口減少も要因の一つだと思うが、浚渫土等の工事ごみを受入れしなくなったことが大きな要因と考える。
- ・ 災害ごみの受け入れはしないのか。
- ・ 災害ごみはものによって受け入れを行い、工事ごみは民間において受け入れを行っている。

委員長 7 番	木嶋
委員長 7 番	木嶋
福祉部次長	青柳
委員長 7 番	木嶋
福祉部次長	青柳
委員長 7 番	木嶋
福祉部次長	青柳
委員長 7 番	木嶋
委員長 7 番	木嶋

閉会挨拶

15:04 閉会